

新型コロナウイルス感染症対策に関するアンケート調査結果

感染症対策調整課

1 調査目的

今後の新型コロナウイルス感染症対策の参考とするため、県民の皆さんの意見や感想を伺いました。

2 調査対象等

調査対象: 県政モニター964人(うちインターネットモニター633人)

調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 令和3年12月2日～12月20日

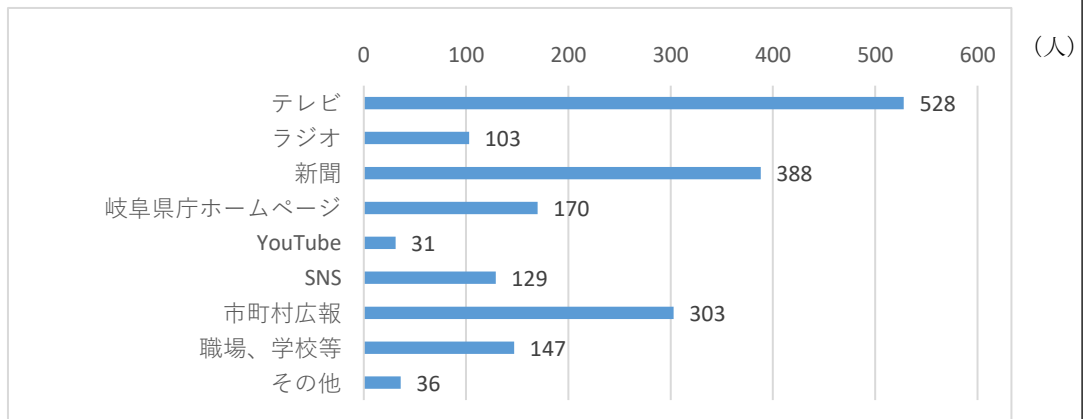
回収結果: 631人(回収率65.5%)

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。
そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

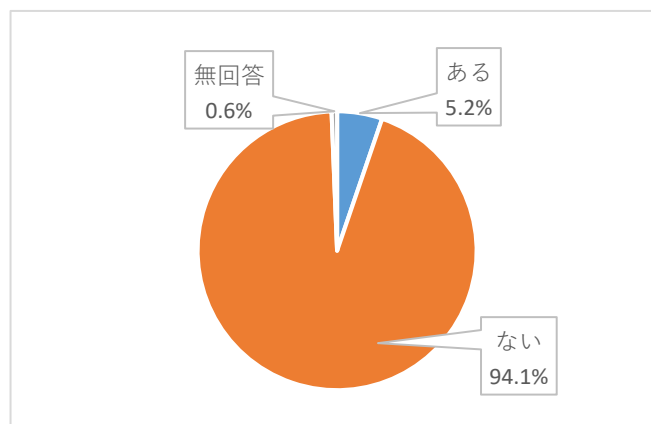
○ 情報の入手先について

「テレビ」が最も多く、「新聞」、「市町村広報」と続く。



○ コロナ・ハラスメントについて

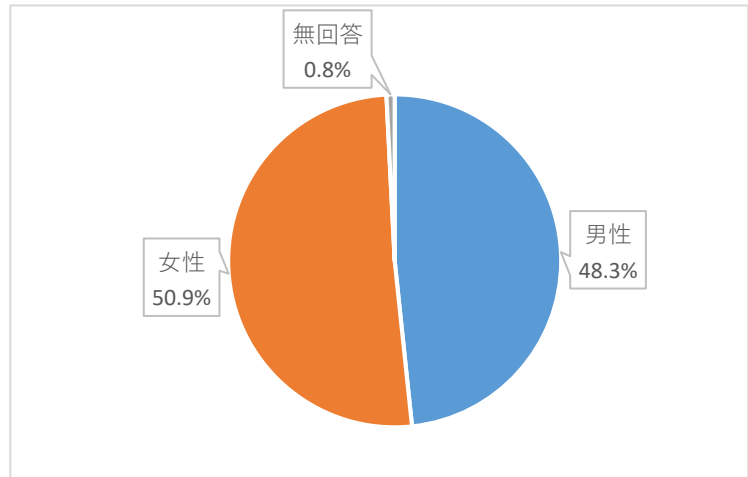
「ない」と答えた方が9割を超える。



4 回答者属性

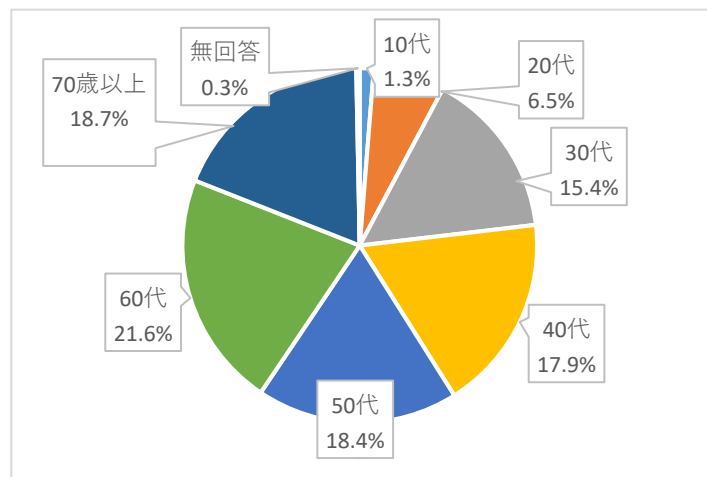
(1) 性別

	人数	割合
男性	305	48.3%
女性	321	50.9%
無回答	5	0.8%
合計	631	100%



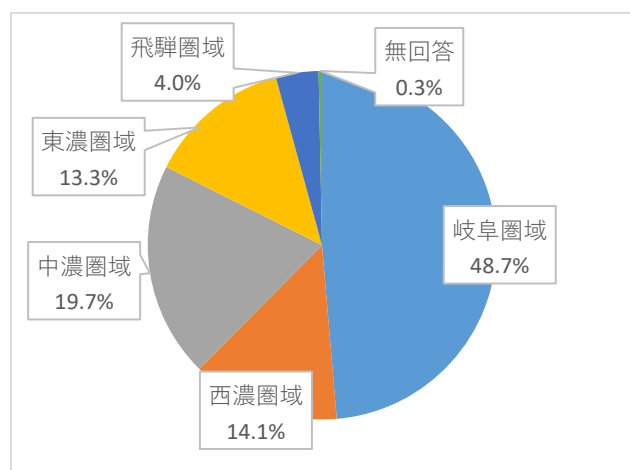
(2) 年代別

	人数	割合
10代	8	1.3%
20代	41	6.5%
30代	97	15.4%
40代	113	17.9%
50代	116	18.4%
60代	136	21.6%
70歳以上	118	18.7%
無回答	2	0.3%
合計	631	100.0%



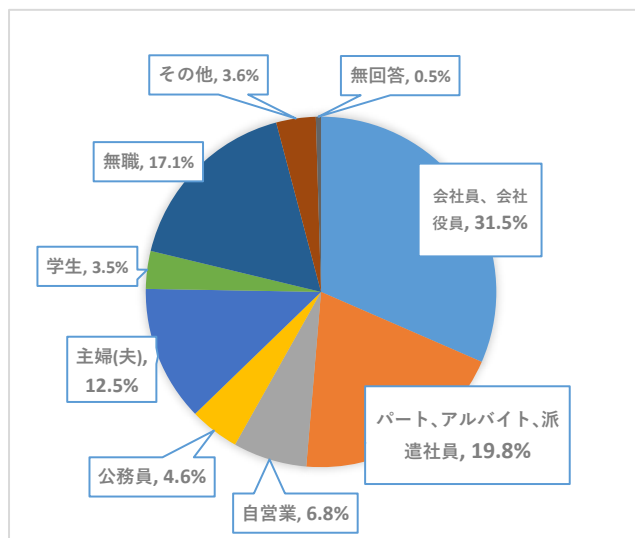
(3) 居住圏域別

圏域	人数	割合
岐阜圏域	307	48.7%
西濃圏域	89	14.1%
中濃圏域	124	19.7%
東濃圏域	84	13.3%
飛騨圏域	25	4.0%
無回答	2	0.3%
合計	631	100.0%



(4) 職業別

職業	人数	割合
会社員、会社役員	199	31.5%
パート、アルバイト、派遣社員	125	19.8%
自営業	43	6.8%
公務員	29	4.6%
主婦(夫)	79	12.5%
学生	22	3.5%
無職	108	17.1%
その他	23	3.6%
無回答	3	0.5%
合計	631	100.0%

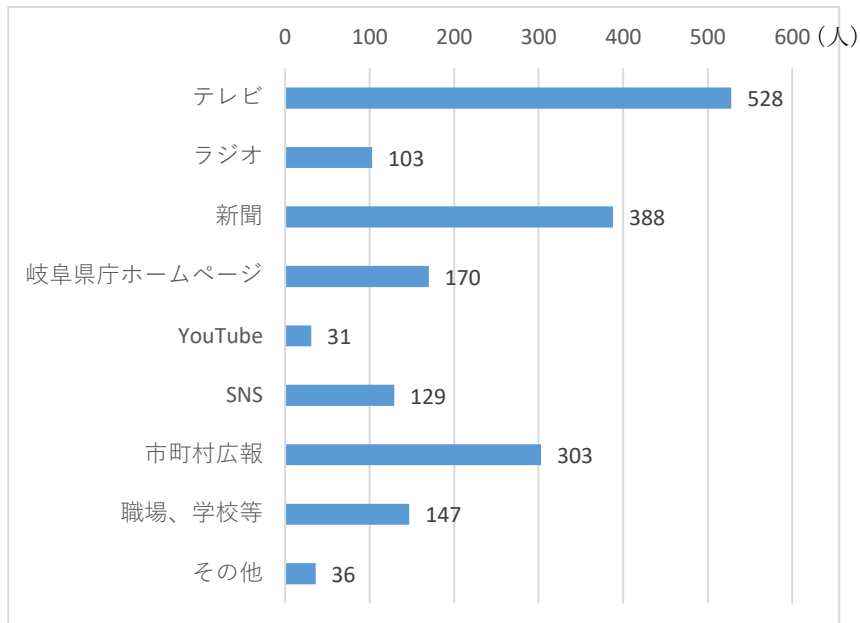


5 調査結果

問1 あなたは、新型コロナウイルス感染症に関する県内の感染状況、県からの注意喚起、各種支援策等の情報をどのように入手していますか。(複数回答)

回答者 629 人

情報源	回答数	割合
テレビ	528	83.9%
ラジオ	103	16.4%
新聞	388	61.7%
県HP	170	27.0%
YouTube	31	4.9%
SNS	129	20.5%
市町村広報	303	48.2%
職場 学校等	147	23.4%
その他	36	5.7%
合計	1,835	

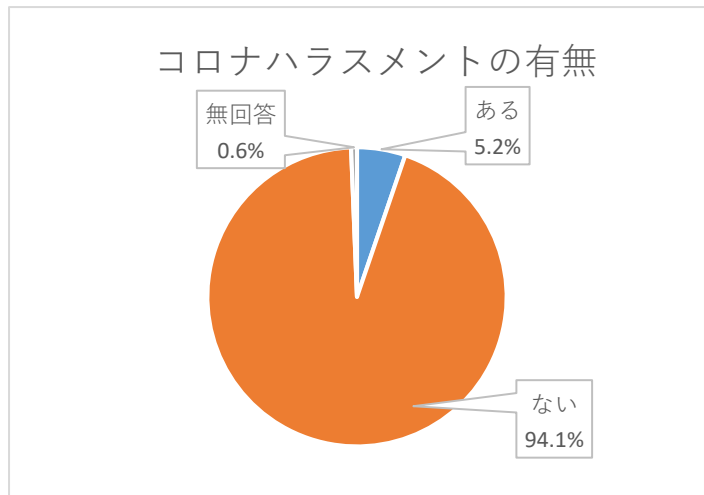


その他（具体例）

- ・市から各家庭に配布された防災ラジオ
- ・友人との会話
- ・地域の集会や行事での情報交換等

問2 現在、あなたの周りで、新型コロナウイルス感染者、濃厚接触者、医療従事者、外国人の方々、他地域からの来訪者、それらのご家族や特定の会社、店舗等への差別的扱い、非難などいわゆる「コロナ・ハラスメント」はありますか。

	人数 (人)	割合
ある	33	5.2%
ない	594	94.1%
無回答	4	0.6%
合計	631	100.0%



<ハラスメントの具体例>

- ・ ワクチン接種の強要
- ・ コロナ陽性者への嫌がらせ
- ・ 遠方より帰省した人への目線
- ・ 陽性者や治療をおこなっている病院を避ける

問3 新型コロナウイルス感染症対策として、県に力を入れてほしい具体的な対策がありましたらお聞かせください。

(主なもの)

- ・ ワクチンの3回目接種の前倒し
- ・ PCR検査は希望者全員が出来るようにしてほしい
- ・ 他県等との共通ツールとして接種証明書のペーパーレス化
- ・ 医療従事者への厚い待遇
- ・ 外国人の方に感染対策をしっかり理解して貰えるようにしてほしい
- ・ コロナの影響によって職を失った人への経済的な支援
- ・ 感染状況をなるべく詳しく発表してほしい
- ・ 自宅の感染対策補助金の設立 (自動水栓普及補助など)
- ・ 自宅療養者が出ないよう、療養施設の十分な確保
- ・ 緊急事態宣言等で営業する飲食店への罰則の適用、厳罰化、指導徹底
- ・ 新型コロナウイルス感染症が疑われる症状がある場合の初期受診機関の設置
- ・ コロナハラスメント対策